

清らかな源流の里  
**県南農林だより**  
第14号



西郷澗  
(西白河郡西郷村)

**農林業関係の動き**

**■高校生林業現場見学会を開催**



最新鋭機械での造材作業に見入る  
白河実業高校の生徒

10月13日(木)、林業分野への新規就業者の確保に向け、高校生を対象とした林業現場見学会を開催し、福島県立白河実業高等学校農業科の1年生40名が参加しました。

当日は、西郷村で最新鋭林業機械と伐採現場、その後、白河市大信の製紙用パルプやバイオマス燃料の原料となるチップ工場を見学しました。

西郷村の伐採現場では、チェーンソーとプロセッサによる間伐と造材作業などを見学し、森林組合の職員から「健全な森林を育成するためには間伐が必要である。」などの説明があり、木の成長に応じた森林の手入れの重要性を学びました。

参加した高校生からは、「伐採も経験してみたいので、就職も考えたい。」との感想も聞かれ、これからも継続して実施することで若年層の就業が期待されます。(森林林業部)

**目次**

**農林業関係の動き**

- ◇高校生林業現場見学会
- ◇ノーマス ノー事故 農作業
- ◇県南地域農業普及推進懇談会
- ◇よつがし しらかわ食・人フェア
- ◇農業体験実践研修
- ◇しらかわ・地域産業6次化ネットワーク交流会
- ◇農業農村整備工事(県営事業)

**コラム**

- ◇このお米はどこから？

**お知らせ**

- ◇直売・加工仲間ネット秋の大感謝祭
- ◇うつくしま育樹祭
- ◇おいしいふくまいただきます！キャンペーン
- ◇農業農村整備事業復興パネル展
- ◇野生きのこの販売等はできません

**■ノーマス ノー事故 農作業！！**

今年も収穫の秋を迎えましたが、農繁期であるこの時期は、農業者の農作業事故の発生が増える傾向にあります。

そこで当所は県内初の取組として、秋の全国交通安全運動期間(9/21~30)と連携して農作業安全運動啓発活動を行いました。

運動期間の初日に、白河・棚倉両警察署及びJA夢みなみ・JA東西しらかわと連携し、それぞれのJAの直売所において、反射材や啓発チラシを農産物とともに来客者に配布し、農業者や一般客に向けて安全意識の向上を呼び掛けました。

一般ドライバーの方は、秋の夕暮れ時、見通しの悪い農道などでは特に注意して走行するようにしましょう。また、農業者の方は、単独での作業は極力控えるとともに、農耕車に反射材を貼るなどして車から目立つ工夫をし、事故防止に努めましょう。(農業振興普及部)



来店者へのPR活動

## ■平成28年度第1回県南地域農業普及推進懇談会を開催



会議の様子

10月19日(水)、白河市表郷庁舎会議室において、本年度第1回の県南地域農業普及懇談会を開催いたしました。

本懇談会は、普及活動の推進に農業者の意向や課題調査の結果等に関して市町村や関係団体の意見、要望を反映させ、効率的な活動を図るために設置しています。

当日は、本年度前半の普及活動の取組状況を説明した後、「耕畜連携による飼料作物生産の推進」と「集落ぐるみで取り組む鳥獣害対策の推進」の課題発表を行い、各課題に対して多様な意見をいただきました。(農業振興普及部)

## ■平成28年度第2回「よってがし しらかわ食・人フェア」を開催



販売会の様子

10月20日(木)～23日(日)、イオン白河西郷店において、地元消費者に6次化商品を始めとする県南地方の特産品をPRし、さらなる販路拡大を図るため、生産者による対面販売会を実施しました。

18事業者が出店し、肉加工品や漬け物、納豆、ドレッシングなどの加工品やりんごや大根などの農林水産物、ロールケーキやプリンなどのスイーツ、地元産米で作ったおにぎりなど約130品目を販売しました。

お客様からは「また開催して欲しい」、「知らない商品を見つけた」など、前向きなお言葉をいただきました。

今後も、「生産者と消費者」、「生産者と販売店」をつなげる取組を実施してまいります。(企画部)

## ■平成28年度農業体験実践研修を開催



農業体験(とっくり芋の収穫体験)

10月26日(水)、西郷村において、しらかわ広域連携グリーン・ツーリズム推進協議会主催の「農業体験実践研修」が開催され、県南地方グリーン・ツーリズム実践者19名が参加しました。本研修では、受入技術の向上を目的に、「農業体験」と「救命救急講習」が行われました。

現地研修では、農業体験の模擬受入を「にしごう体験隊」が行い、他の参加者は農業体験(とっくり芋の収穫)を行いながら、受入に関する一連の流れを学びました。その後、白河消防署西郷分署員から怪我や急病人が発生した場合の対応について、指導していただきました。

参加者からは、「始めに、収穫方法の説明がほしい。」「収穫するまでの経過を説明に加えたら良いのではないか。」といった意見や、受入側からは、「安全面の配慮が必要。」「にしごう体験隊独自の実践研修の場を設けて受入体制の整備を図りたい。」等様々な意見が出されました。(企画部)

## ■平成28年度第2回しらかわ・地域産業6次化ネットワーク交流会を開催



講師（写真右側、座っている男性）から撮影時の注意点について説明を聞く参加者

11月2日（水）、白河市立図書館において、県内で加工食品や工芸品等の6次化商品を生産・販売する事業者を対象に、6次化商品のPR力向上を目的とした交流会を開催しました。

講師として、福島市出身のプロカメラマン（株）香野写真事務所の香野寛さんを招き、商品のPR写真の撮影方法について講演と技術指導をしていただきました。

講演では撮影の基本的なことから、光の色の違いや光を当てる向き、露出補正など発展的な内容まで教えていただきました。また、講師のレクチャーを受けながら、参加者自らが持参した商品を、本格的な撮影セットを用いて撮影しまし

た。参加者からは「すぐ実践できそう」、「自分の撮ってきた写真の直すところがあった」など、前向きな言葉をいただきました。（企画部）

## ■今年度の農業農村整備工事（県営事業）について



水路整備・西郷南部地区の工事始点

農村整備部では、農業生産基盤の整備、農村の防災力や農村生活環境の向上を目的とした事業を実施しています。

そのうち、県が直接行なう県営事業は、県南管内の12か所で実施しており、今年はこの内8か所で工事を実施します。

主な工事は、①農地や家屋の洪水被害防止のための水路整備（西郷村）、②老朽化した水路・揚水ポンプの計画的な修繕（白河市・矢吹町）、③防災力向上のための「ため池」改修（中島村）、④農産物等運搬の効率化のための道路整備（矢吹町・矢祭町）⑤水田の区画整理に伴う用排水路整備（白河市）です。

各工事とも一日も早く事業実施の効果を生み出せるよう、関係者が一丸となって早期の工事完成を目指しています。（農村整備部）

## コラム

### ■このお米はどこから？

あっ！このごはん美味しい！どこのお米だろう？と感じたとき、商品のパッケージや飲食店の店内を見れば、お米の産地が表示されています。

実は、この産地表示は、「米トレーサビリティ法」（平成22年10月1日施行）という法律に基づく表示なのです。

この法律は、流通ルートをややかに特定できるようにすること、また、米製品の原材料の産地に関する情報を消費者に提供できるようにすることを目的に、「取引の記録」と「産地情報」をお米の取引に携わる人全てに義務づけています。

お米は生産者から、流通、加工品製造、小売、外食業と様々な人の手を渡って、消費者のもとに届きます。お米が移動するたびに取引伝票等で、産地情報が記録・伝達され、どんなお米が取引されたのか分かる仕組みになっています。この仕組みにより、米産地の信頼と消費者の安心が守られています。

ぜひ、お米の産地表示に注目してみてくださいね♪（企画部）



（出典：農林水産省のHPより）

直売・加工

仲間ネット県南

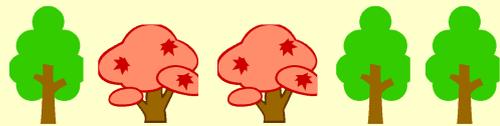
秋の大感謝祭

○日時 11月13日(日) 10:00~  
 ○場所 JA東西しらかわ農産物直売所  
 「みりよく満点物語」  
 (棚倉町大字下山本字愛宕平15-1)  
 県南地方の直売や加工などの10組織が出店し、  
 自慢の農産物を販売します。  
 大抽選会やリンゴのプレゼントがありますので、  
 皆様、是非、お越してください。(農業振興普及部)



■うつくしま育樹祭

○日時 11月12日(土) 10:00~14:30  
 ○場所 白河市東風の台運動公園  
 ○お問い合わせ先 森林林業部(0247-33-2123)  
 県民の皆様、緑や森林とふれあう大切さを感じていただくことを目的として「うつくしま育樹祭」を開催します。  
 当日は、育樹活動や木工体験、自然観察など大人も子供も楽しめる内容となっていますので、奮って御参加ください。(森林林業部)



■おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン

○日時 11月20日(日) 10:00~13:00  
 ○場所 JA東西しらかわ農産物直売所  
 「みりよく満点物語」  
 (棚倉町大字下山本字愛宕平15-1)  
 TOKIOのCMでおなじみの「天のつば」や旬を迎えた地元産しいたけの試食、新米のすくい取りゲームなどを行いますので、是非、お越してください。  
 (企画部)

■福島県農業農村整備事業「復興パネル展」

○日時 12月16日(金)13時~12月27日(火)12時  
 ○場所 白河市立図書館 1F 地域交流エリア  
 エントランスギャラリー(白河市道場小路96-5)  
 東日本大震災により被災した農地・農業用施設の復興への歩みを紹介する「復興パネル展」を開催します。西郷ダムの復旧事例を始め、県内各地のため池、農地等の事例を写真でわかりやすく展示しますので、ぜひ御来場ください。(農村整備部)

■野生きのこの出荷・提供・販売はできません！！

国から出荷制限指示を受けている市町村で採取した野生きのこが食堂で提供されるという事案が発生しました。県南地方におきましては、全市町村で野生きのこの出荷制限等の指示が出されていますので、野生きのこの出荷、提供、販売をしないよう御注意ください。(森林林業部)

品目	市町村
野生きのこ	全市町村(棚倉町は摂取も制限)

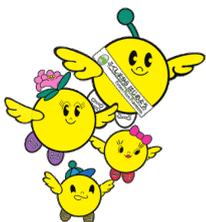
※なお、近隣市町村(他県を含む)の情報は、下記ホームページ等でご確認ください。

福島県ホームページアドレス/ふくしま新発売

<http://www.new-fukushima.jp/>

林野庁ホームページアドレス/きのこや山菜の出荷制限等の状況について

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/tokuyou/kinoko/syukkaseigen.html>



農林業に関する相談などお気軽にご連絡ください！

福島県県南農林事務所 企画部

〒 961-0971

住所 福島県白河市昭和町269[白河合同庁舎]

電話 0248-23-1577

平成28年11月9日発行



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.